

# 経済・金融 フラッシュ

## 米6月ISM製造業指数は49.7 ～3年ぶりに50を割り込む

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

米6月ISM製造業指数は49.7に下落、同指数の50は製造業の拡大・縮小の分かれ目とされるが、2009年7月以来初めて50を下回った。上半期の製造業は自動車の回復を背景に景気の牽引役とも期待されていたが、6月ISM指数は最近の景気全般の減速傾向の波及を裏付けるものとなった。ISMでは過去のデータによる6月PMIは実質GDPの年率2.4%に相当するとしており、現状はそれほど低水準に落ち込んだ状況にあるわけではないが、米景気が、今後二番底への懸念を強めるのか、軽めのソフトパッチに留まるのか、注視される局面に入ってきたことは間違いないと思われる。(なお、非製造業ISM指数は7/5に発表予定)

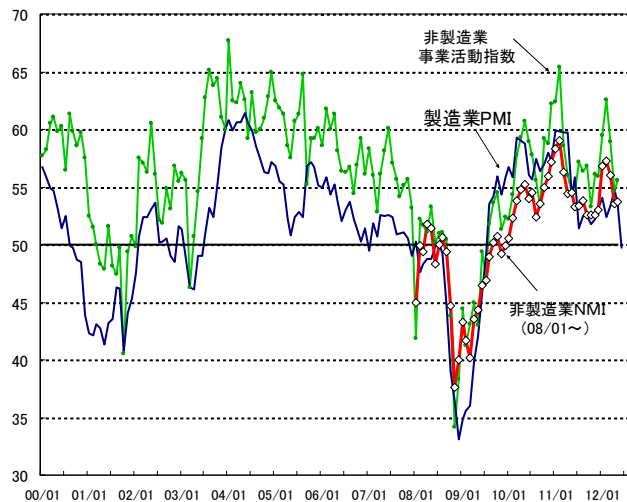
### 1、ISM製造業指数は49.7と前月比▲3.8ポイントの下落

企業のセンチメントを示すISM(米供給管理協会)指数は、6月製造業指数(PMI)が49.7と前月(53.5)から▲3.8ポイント下落、市場予想(52.0)を大きく下回る2009年7月以来の低水準となり、34ヵ月連続での50越えに終止符を打った。

PMIの構成指数では、新規受注指数が47.8(前月比▲12.3ポイント)、生産指数が51.0(同▲4.6ポイント)と大きく下落、PMI低下の主要因となった。特に受注の低下は景気の先行き不透明感の強まりを反映したものと見えそう。

PMIの推移を振り返ると、金融危機後の2008年12月に33.1と近年の最低水準を記録した後、2009年8月に53.5と50台を回復、本年5月まで50台を維持していた。もともと、昨年1月の59.9をピークに低下、昨年7月以降は50台前半での推移が続いていた。発表元のISMでは、「PMIは製造業の分かれ目となる50を下回ったものの、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目(GDPのゼロ成長)は42.6であり、6月PMIは実質GDPの年率2.4%に対応する水準」としている。

(図表1) ISM指数の推移(月別)



(資料) Institute for Supply Management、以下も同じ。

注:内訳は(図表2・3)参照、6月非製造業指数は7/5発表予定

(各指数別の動向)

2、PMI の構成指数では、受注指数が大幅な下落

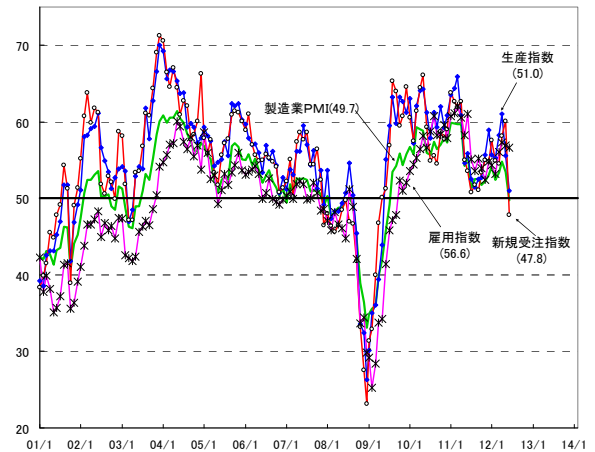
PMI の構成5指数（受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫）の動きを見ると、新規受注指数が47.8と前月(60.1)から▲12.3ポイントの大幅な下落、2009年4月(46.8)以来の水準に低下した。受注の落ち込み幅では9.11テロ事件直後の下落幅(▲12.4)以来11年ぶりの大きさとなる。また、生産指数も51.0、同▲4.6ポイントと下落幅が大きく、この両者がPMIを大きく押し下げた形となる。そのほか、在庫指数が44.0と同▲2.0ポイント低下、雇用指数も56.6と同▲0.3ポイント低下した半面、入荷遅延は48.9と同0.2ポイント上昇した。

上記構成指数以外の5指数では、顧客在庫指数が48.5と同5.0ポイント上昇した他は概ね下落、中でも価格指数が37.0、同▲10.5ポイントの大幅下落、同水準は2009年4月以来の低水準となる。そのほか、輸出受注指数が47.5(同▲6.0ポイント)と下落幅が大きかったことが、欧州等海外景気不振の影響を示唆している。

米経済は、昨年も夏場にかけて軟弱な局面を迎えたが、PMIはかろうじて50台を維持した。その後も50台前半での推移を続けていたが、上記のようにPMIの構成指数のうち受注・生産といった主要指数が大きく下落し、50を割り込んだ。また、輸出受注の低下も大きく、受注関連指数が揃って大幅に低下するなど、先行きの製造業回復への懸念を窺わせる動きとなっている。

もっとも雇用に関しては僅かに低下したものの、全指数のうち最高値にあるなど底堅く推移しており、今の所、雇用調整に動くほど景気が悪化しているわけではない。当面、景気動向に関して注視すべき局面が続くようだ。

(図表2) PMIと主要構成指数の推移(月別)



注：( )内の数値は2012年6月値

(図表3) ISM指数：製造業各指数の推移

	製造業指数																			5→6月 変化幅
	10年 12月	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
PMI	57.3	59.9	59.8	59.7	59.7	54.2	55.8	51.4	52.5	52.5	51.8	52.2	53.1	54.1	52.4	53.4	54.8	53.5	49.7	▲3.8
新規受注	59.0	63.8	62.7	61.9	62.7	55.0	53.6	50.8	51.8	51.1	53.4	55.0	54.8	57.6	54.9	54.5	58.2	60.1	47.8	▲12.3
生産	60.8	63.5	64.4	65.9	60.8	54.6	55.9	52.5	51.5	52.5	52.7	55.7	58.9	55.7	55.3	58.3	61.0	55.6	51.0	▲4.6
雇用	57.9	60.7	61.1	62.1	60.6	58.3	61.0	55.1	53.6	55.2	54.0	52.4	54.8	54.3	53.2	56.1	57.3	56.9	56.6	▲0.3
入荷遅延	58.6	59.3	60.1	59.8	59.7	54.4	55.2	50.6	51.2	51.6	52.2	51.3	51.5	53.6	49.0	48.0	49.2	48.7	48.9	0.2
在庫	50.0	52.0	50.5	49.0	54.5	48.5	53.5	48.0	54.5	52.0	46.5	46.5	45.5	49.5	49.5	50.0	48.5	46.0	44.0	▲2.0
顧客在庫	40.0	45.5	40.0	39.5	40.5	39.5	47.0	44.0	46.5	49.0	43.5	50.0	42.5	47.5	46.0	44.5	45.5	43.5	48.5	5.0
価格	72.5	81.5	82.0	85.0	85.5	76.5	68.0	59.0	55.5	56.0	41.0	45.0	47.5	55.5	61.5	61.0	61.0	47.5	37.0	▲10.5
受注残高	47.0	58.0	59.0	52.5	61.0	50.5	49.0	45.0	46.0	41.5	47.5	45.0	48.0	52.5	52.0	52.5	49.5	47.0	44.5	▲2.5
輸出	54.5	62.0	62.5	56.0	62.0	55.0	53.5	54.0	50.5	53.5	50.0	52.0	53.0	55.0	59.5	54.0	59.0	53.5	47.5	▲6.0
輸入	50.5	55.0	55.0	56.5	55.5	54.5	51.0	53.5	55.5	54.5	49.5	49.0	54.0	52.5	54.0	53.5	53.5	53.5	53.5	0.0

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。